

関東龍門会報

RYUMON NEWS

発行人
会長 朝倉正昭
発行所
関東龍門会事務局
東京都文京区関口1-28-1-302
TEL FAX 03-3207-1297
事務局長 山下憲男

母校は創立110周年、新しい歴史を刻み始めました

新しい風、新しい息吹

関東龍門会
会長 朝倉正昭
(高・昭34卒)

降雪の多かった冷たい冬も、いつしか花薫る春を通り季節は初夏を迎えようとしております。会員の皆様におかれては益々ご壮健の事と存じます。さて、ご承知の通り我等が母校は創立110周年を迎え、昨年11月10日(土)その記念式典が開催されましたが、関東龍門会代表として私と満田副会長が出席いたしました。詳しい報告は満田副会長にお願いしますが、記念行事を通じて特に私の印象に残ったことは、記念式典での後輩である在校生のきびきびした立居振る舞い、姿勢の素晴しさで、母校の未来展望の明るさを感じ深く感銘いたしました。同時に、母校が名実ともに「名門校」として益々発展していくものと確信した次第です。

ますと、大きな変動はないものの、どちらかと言うと会員数に比し「低位安定」の感なきにしも非ずです。これらを考慮し、今回から会報内容を見直す、同好会活動の活性化を図るなどを行い活動の活性化を期しております。会員の皆様にはどうかこれらを感じ取っていただき龍門会行事に積極的に参加していただくようお願い申し上げます。

一方、今年、7月に「洞爺湖サミット」、8月には「北京オリンピック」と相次いで世界的イベントが開催されますが、共通して環境問題が大きなテーマとなっております。この問題は申すまでもなく地球的関心事であり、私の居るスポーツ界においてもIOC(国際オリンピック委員会)のイニシアティブのもと、1994年リレハンメル冬季オリンピック大会において、「環境」を「スポーツ」「文化」に続くオリンピックリズムの「第3の柱」とすることを提案し積極的に取り組んでおります。これらの問題は遠い世界の話ではなく、我々一人ひととしても、未来の地球のため身近に出来る温度調節やゴミの分別、水や電気や車の使い方などの工夫によりCO2削減に協力することが求められていると考えており、会員の皆様におかれても従来以上に強い意識を持ってくだされば有難いと思うことです。

末筆となりましたが、関東龍門会の益々のご発展と皆様のご活躍、ご多幸を祈念しご挨拶いたします。



平成20年度の総会(懇親会)は 6月7日(土) 会場:三州クラブ

会員の皆様へ

平成20年度

関東龍門会総会(懇親会)開催のご案内

標記の総会(懇親会)を左記により開催いたします。既に参加されたことのある方はご存知ですが、「総会」といっても堅苦しいものではなく、かつて加治木高校に学んだ者が、年に一度、一同に集まって懇談、交流を図ろうというもので、毎年ワイワイと楽しくやっています。どうぞ気楽にご参加ください。多数の方のご来会をお待ちしております。

記

日時 平成20年6月7日

午後12時30分 自由懇談
13時 総会
14時 パーティ

場所 三州クラブ(品川区上大崎1-20-27)

TEL 03-3447-6776

(アクセス)JR目黒駅下車、目黒通りを白金迎賓館の方へ約200m進み、高速度道路の交差点を右折し、3本目の通りを左折、突き当りです。(約10分)

会費 男子 6,000円
女子 5,000円

学生 無料

★パーティでは懐かしの味:辛焼酎、ツケアゲ、カルカンが出てきたり、「里帰り航空券」「ホテル宿泊券」「ホテル食事券」等が当たる、楽しい抽選会もあります。同期生、同じクラブの仲間等を誘い合わせてぜひご参加ください。



(お願い)

案内状に同封した返信用ハガキで、出席・欠席に関わらず5月20日までに、ご返信をくださるようお願いいたします。なお、ご出席の方で今年「喜寿」を迎えられる方はお申し出ください。龍門会オリジナルのお祝品を会場でお贈りします。

当総会の連絡先等は案内状をご参照ください。

「創立110周年記念行事に参加して」

副会長 満田 泰啓
(高34年卒)

加治木高等学校は、昨年、創立110周年を迎え各種記念行事が盛大に執り行われました。関東圏からも先輩諸氏が多数参加されましたが代表としてご報告をさせていただきます。

この度の創立110周年記念事業は、平成16年秋から母校と同窓生有志が集い、行事のメインテーマを「絆」と設定しいろいろな事業が展開されました。



先輩と後輩の「絆」を強める「先輩が後輩に贈る龍門講座」が在校生のキャリア教育の一環として11月9日に開催されました。

この講座には当関東龍門会から数名の方が講師を担当され、大変好評を博しました。
(関東龍門会から講師として参加されたのは、宮内毅 山下憲男、前屋毅、山元真之、西迫宏文、淵邊善彦、福場文、奥村佳子の各氏です。)

翌10日は、正門左側の亡師亡友碑前での慰霊祭に始まり、体育館では全生徒1100余名と関係者全員参加での記念式典が挙行され、校歌斉唱・小倉校長の式辞に続き、長野記念行事実行委員長(同窓会長)が、伊東県知事、他多数の祝辞と祝電が披露され盛大且つ厳粛な式典となりました。

式典の後、「記念講演」として「モータースポーツ技術と文化」と題して柿元邦夫氏(昭和39年卒)が記念講演をされました。今回この記念式典に参加して感じたことですが、式典に於ける全生徒の起立・着席での一瞬の風を切る音など、整然且つキビキビとした動作の他、着席した後部座席より見る限り、茶髪らしき女生徒は一人も見当たらなかったこと、校内で出会う生徒の皆が気持ちよく挨拶をしてくれることなど、11年に渡り脈々と築き上げられた校風「質朴剛毅」「堅忍不拔」「清新澆刺」の伝統が、凛として受け継がれている、という誇りを感じさせてくれました。また加高のシンボルでもある校庭の大楠も一段と緑影を濃くし、その貴緑で校庭を見守っていました。また、卒業生によるそれぞれの記念植樹も大きく育っていました。一方、校舎は全て新しくなっており冷暖房完備とのこと、時の流れを感じずにはられない思いでした。

式典終了後、バスで霧島市・国分に移動し「ホテル京セラ」において祝賀会が開催されました。会費制でしたが、500余人が参加され盛大且つ華やかな雰囲気、素晴らしい感動と交友の集いとなりました。なお、関東龍門会として会員各位の賛同を得て、この記念行事のために3年前から企画・実行して参りました積立金の一部を寄付させていただきました大変お慶びいただきました。ご協力いただきました会員の皆様改めて厚く御礼申し上げます。

以上、母校110周年行事に参加できました事を感謝しつつ報告とさせていただきます。

最後になりますが、1面にもご案内している通り今年の総会(懇親会)は6月7日(土)に開催されます。大勢の方のご参加を心よりお待ちしております。お喜びです。

後輩も感動 創立110周年記念事業 「先輩が後輩に贈る龍門講座」

関東龍門会の講師はこのテーマで話し、受講生徒はこう受け止めました！

加治木高校は、創立110周年記念事業の行事のメインテーマを「絆」と設定し、在校生の心に届き、生徒の未来に残る行事の一環として「先輩が後輩に贈る龍門講座」を開催されました。講師はアメリカをはじめ全国から24名の方が選出され1年から3年までの全クラスを担当、関東龍門会からも8名の講師が参加しました。ここではその方々の話されたテーマと、受講した在校生の感想を加治木高校発行「龍門講座報告集」より転載してお伝えします。

■(テーマ)「家族・お母さん・記録」
講師・福場 文 S 61年卒

「娘から母への絵手紙」著者
創立110周年という記念の年にこのような講義を聞くことができてよかったです。自分の普段の授業とは違った楽しさがありました。自分の気持ちを素直に表現することのすばらしさや、家族への愛情の深さを感じるとともに、夢を叶えた福場先輩のすばさが伝わってきました。「今しか体験できない貴重な時間を大切に」「ゆっくり大人になってくたさい」の言葉にとっても安心感を覚え、私も自分らしくひたむきに頑張りたいと思います。

■(テーマ)「リテール金融クレジットカードビジネス」
講師・山元真之 S 49年卒

(株)オエムシーカード常務執行役員CFO
110周年を記念にこのような素晴らしい先輩の講演を聞くことができてよかったです。山元先輩のお話を聞いて、クレジット業界を通じて日本経済について考えることが出来た。また、「平歩先に出る」ことの大切さを学び、私達もチャンスをつかめるように努力していきたいと思えます。いろいろな社会の話や高校生活の思い出話などについても話してもらいとてもためになりました。ありがとうございました。

■(テーマ)「インドネシアにおける
青年海外協力隊」
講師・奥村佳子 H 8年卒

助産婦、元青年海外協力隊
世界観の全く違う奥村さんの話を聞くことができ良い経験になった。日本のことだけでなく、世界の人々たちの今現在の状況や様子を学ぶことができ、とても良かった。自分の意見を主張できるカッコ良さを感じた。世界には、まだ、貧しい人が多く存在している。自分たちでは直接手をさしやることはできないけれども、少しの基金や少しの意識がこれから未来を変える気がした。

■(テーマ)「書く」という現場
講師・前屋 毅 S 48年卒

フリージャーナリスト
「書く」という現場についての今回の講義でしたが、リアルな現場の状況は私達の興味をそそるものばかりでした。私達はまだまだ若い。自分の夢を諦めずに追い求めるべきだと思います。諦めず、腐ることなく、

自分の道を選んだ前屋先輩の軌跡のお話は私達の背中を優しく押してくださったと思います。3年生のこの時期、みんなが真剣に将来の自分を思い描きます。甘えが許された今までは違いますが、私達は大人にならなければなりません。最後に前屋先輩がおっしゃった「心いときこそ楽しんで」という言葉を胸に、ゆるく、辛を折らず、前向きに進んでいこうと思います。

■(テーマ)「法社会がやってくる」
講師・淵邊 善彦 S 58年卒

弁護士 M&A 国際企業取引、一般企業法務
今日先輩の話聞いて、自分は社会のことを何も知らないことを痛感した。もっと新聞を読んで、社会の動きを知ることが必要だと思った。弁護士は刑事事件を扱うイメージが強かったが、企業の合併・買収など、さまざまな分野で活躍していることを知る事ができた。これからは法律や裁判について意識しながら世の中の動きを捉えていきたい。

■(テーマ)「日本の心を大切に」
講師・宮内 毅 S 27年卒

税理士・税財政、H16秋叙勲瑞宝章
大先輩の話聞いて改めて、加治木高校の歴史と文化のすばさを感じた。話の中では、我慢することの大切さや、マナーなど日本人に欠けている心や、昔から日本人が持ち続けていた心など、今後の人生で為になることばかりだった。これから日本人の心を大切に生きていこうと強く思った。礼儀をわきまを、他人のことを思いやり、人生をいかに生きべきかをしっかり考えるようになりたい。本を読むことで、様々な知識を得ることができたり、物の見方や考え方の幅を広げることができたのだと考えると、今の私達に必要な物であると感じた。今後は時間を作ってできるだけ本を読みたいと思った。

■(テーマ)「やる気を出そう活き活きと」
講師・西迫 宏文 S 55年卒

公認会計士
1時間ずつと集中していました。例えば話などは割愛しました。「生青春毎日気合」の文字のタオルを見ながら、やる気が出てきます。1. 何事にも計画を立てる。2. 51/100をポジティブに生かす。自分の決めたことに責任を持って大人になりたいと思います。いやもう本当に手いっぱい、これ以上書けません。コンタクトはきちんとあつた物を使ってくださいね。では1時間お疲れ様でした。先生も私も。

■(テーマ)「IT新商品開発に挑戦する技術者の仕事観」
講師・山下 憲男 S 41年卒

(株)ヒューマンウェア 代表取締役
大学進学に対する明確な目標がでません。未知なことに挑戦し続けるエン지니어のチャレンジ精神を見習い、自分が好きなこと、楽しいこと、やり甲斐があることを志を見つけ、どんどん挑戦していきたい。社会人としての心構えができ、今のうちから実践していく大切さがわかった。この講義で素晴らしい先輩達を数多く輩出している、加治木高校に誇りをもった。私もこれから大学や社会に出て行くときに信念や高い志を持って行動していきたいです。「誰もやったことのない事をする」そう話す山下先輩はカッコいいと思いました。

同窓生通信

「返信はがき」の通信欄から転載。

○ 膝関節痛・腰痛・右肩痛のため歩行困難となり、残念ながら欠席させていただきました。幹事役の皆様ご苦労です。盛会を祈ります。健康第一に
(中・昭15) 橋本藤伍 (旧姓：久松・船橋市)



○ 80歳の坂を登り初めまして矢張り出席できません。女学生時代の加治木を想い出します。紀元2601年の卒業です。会の繁栄をお祈りいたします。
(女・昭16) 瀬戸千鶴子 (旧姓：新沢・杉並区)

○ 平成17年12月帰省、南九州一人旅の後18年から急激に体調悪化、デイサービスや入院の繰り返し、こんな筈ではなかったと緊張つても年齢相応の衰えは致し方なしと腹をくくりました。故郷の景色や人々を慕う思いは切実です。スタンドの大楠やライサー・ヤンサーが懐かしい。
(中・昭18) 桑幡昌典 (所沢市)

○ 自分の足で歩ける間は出席するつもりです。皆さんのご健勝を祈ります。
(中・昭18) 浦野八夫 (浦安市)

○ 若松元会長や馬場さん達とゴルフや麻雀をやった頃が思い出されます。若松元会長の冥福を祈ります。
(中・昭和18) 丸野勲 (市川市)

○ 高齢のため症状快復がまあまりません。
(中・昭和19) 榊宗義 (西東京市)

○ 平成20年、我々44回中④生は傘寿の歳を迎えます。終戦の年1月に名古屋、富山に学徒動員生として出征させられた加中史の生き証人です。盛大な同窓会を開いて、生死をかけた苦難の80年を語り合い、その史実を同窓会誌に記録し残世に書き残す予定です。
(中・昭和20) 上箇悟 (杉並区)

○ 脳梗塞で入院中です。
(中・昭20) 白尾国千代 (埼玉大里郡)

○ 皆様とお会いしたいのが山々ですが、体調悪しきため残念ながら失礼します。
(中・昭20) 村田實 (藤沢市)

○ 肝臓摘出(左側)の為、現在静養に努めています。
(中・昭20) 国生瑞穂 (東村山市)

○ 陽気に誘われて皇居東御苑を散策したが、さすがに45度傾斜と思はせる汐見坂では老を感じました。会報で昔お世話になった先輩NさんSさんの近況を知り一日も早い快癒と、役員の方々

はじめ皆様のご健勝を祈念いたします。
(中・昭20) 高橋渉 (旧姓：海老迫・江東区)

○ 昭和3年生まれ80歳。7年間の海外勤務を含め45年間のビジネス人生を終わり、現在では文詢社クラブ(銀座)の会員として社会貢献をしています。同級生の大部分が音信不通となったり、鬼籍にはいつて居られたりで加齢と時代の流れをかみしめています。関東龍門会は永遠の生命を信じています。会員の皆様のご健勝を祈つてやみません。
(中・昭20) 最勝寺幸雄 (横浜市中区)

○ 最近囲碁同好会への参加者が少なく、寂しい思いがします。碁を打つと痴呆防止になるので是非ご参加ください。
(中・昭21) 大井澄佳 (狛江市)

○ 新幹事長ご苦労様です。小生リタイア後も土・日は依頼原稿書きに追われ出席できず残念です。盛会を祈ります。
(中・昭21) 野中隆一郎 (茅ヶ崎市)

○ 生涯現役。寝たきりゼロを目指す社会貢献事業のお陰で76歳を迎えて益々元気です。ご盛会をお祈りします。
(併設中・昭23) 松山貢三 (川越市)

○ 近くを流れる真光寺川の清掃作業を続けて8年になります。川はきれいになり周辺の小中高生が多く遊びにくるようになりました。盛会を祈ります。
(中・昭23) 山口拓郎 (町田市)

○ 身内の高齢介護に追われており欠席します。ご盛会を祈念しております。
(高・昭24) 米倉勝則 (草加市)

○ サイパン島アスリート飛行場で戦死した兄婿夫の軍刀が帰って来ました。(昭和19年6月26日戦死) 昭和11年3月旧加治木中一年修了陸軍幼年学校から陸軍士官学校、陸軍大尉(21才)宮内小学校出身です。同期の方に限らずご希望の方はメールでお知らせ下されば詳細はメールいたします。
(高・昭24) 小城忠行 (小平市)

○ 75歳を過ぎた体力・記録力・聴力の衰えを感じますが、三度三度の食事はおいしいです。年に3、4回町内会の老人ゴルフ会で下手なゴルフを楽しんでいます。
(高・昭25) 稗田義弘 (横浜市)

○ 若葉の頃となりました。役員の皆様お忙しいことと察します。早くから私事で決めていた日と重なり出席できず同期の方々もお会い出来なく心残りです。
(高・昭25) 高橋いち子 (旧姓田中・小美玉市)

○ 会報(32号)を隔々まで読み懐かしい名前に遭い加治木の潮風を感じました。また計報欄に祖母(昭2卒)の名前を発見。役員関係者の組織力調査力に感銘いたしました。会の発展をお祈

りします。
(高・昭25) 森山耕二 (東村山市)

○ 余り遠出は出来なくなりましたが自然を眺めながらの生活をしています。皆様のご健康をお祈り申し上げます。
(高・昭25) 山田英子 (旧姓：浦上・横浜市)

○ 体調を悪くして入院をしていましたが、学生時代陸上部でグラウンドを走っていた体には自信を持っていましたが、寄る年には負けないよう努力しています。
(高・昭25) 松下兼末 (足立区)

○ 埼玉県鹿児島県人会では新座・和光・北本・所沢・川越・上尾に続いて、志木に7つ目の県人会が出来ました。地元同郷の仲間も良いものです。関心のある方は是非ご連絡ください。(連絡先) 048-476-4030
(高・昭26) 永長隆徳 (志木市)

○ 関東龍門会という名は、一般の人に暴力団と間違われてどうも良くない。何とか工夫できませんかね!(事務局注・ご意見として承ります。)
(高・昭26) 森田準之助 (所沢市)

○ 一昨年の6月脊柱管狭窄症の手術をして一年半経過。昨年の5月に再手術しました。この種の手術は余程医師の選択をしなければなりません。そしてなるべく体にメスを入れることは最後の最後にすべきこととキモに銘じて下さい。
(高・昭26) 坂本寛 (土浦市)

○ 同期生が元気で嬉しい。毎月会うと元気を貰えます。心身ともに120歳を目標と云って励まし合っています。俳句会を始めました。
(高・昭26) 本田一 (練馬区)

○ 同好の旧友の皆さんと外国旅行やクルーズなど平和な老後を過ごしています。健康に感謝しています。焼酎も今やメジャーになりました。乾杯!!
(高・昭26) 古江孝生 (大田区)

○ 体調が思わしくなく総会には出席できません。ご盛会を祈ります。
(高・昭27) 伊藤良治 (旧姓：久保・狭山市)

○ 心身共に年齢相応のガタは来っていますが何とか元気に余生を楽しんでいます。
(高・昭27) 立山正人 (流山市)

○ 事情があり昨年3月から「北海道千歳市文京1の6の3ウイング4-12」に引越しました。当分の間は北海道で生活することになりそうです。そのうち平塚に帰る予定です。
(高・昭27) 新村敏郎 (北海道千歳市)

○ 昨年の5月大阪で5期の同期会を開きました。約90名が出席。高齢化社会とは言えまだまだ皆々元気だなと驚いています。
(高・昭27) 久保忠 (横浜市)

○会場を他に移す事は出来ないのですか。新宿あたりでたまには。
(高・昭28) 大高道郎(相模原市)

○私たちは昨年6度目の年女男でした。入院加療中という友人も少なくありません。元気なうちふる里へ足を運びたいと思つています。
(高・昭29) 殿村圭子(旧姓：野島・世田谷区)

○会社をやめて悠々と遊びたいのですが、仕事が面白いこともあつて仲々やめられない現在です。盛会を祈ります。
(高・昭29) 西山知弘(流山市)

○平成18年秋満71歳の定年制により勤務先を退任しました。いろいろな仕事役職、役割から身を退いたのを機に長年住み慣れた世田谷を離れ娘や孫の近く(調布市)に引越しました。
(高・昭29) 猪目寛(調布市)

○イラク戦争は4年が過ぎてても激化の一途です。ウォーターゲート事件を暴いたワシントンポスト紙のボブ・ウッドワード記者の近著「ブッシュのホワイトハウス」(上下)は、ブッシュ政権が発足直後からイラク攻撃を計画していたことを鮮明に描き出しています。これほどの読みこたえのあるノンフィクションにはなかなかお目にかかれませんが、ぜひ一読を!!
(高・昭29) 町田東(入間市)

○加齢と共に腰痛膝痛に悩まされていますが望郷の念は入で、年に1〜2回は故郷の土を踏み旧友にも会いたいものだと考えています。
(高・昭30) 長谷場純一(横浜市内)

○前回の会報(32号)のミニ通信欄で氏名記入を忘れ名前不詳は小生でした。お手数かけて反省しています。
(高・昭30) 前原逸夫(世田谷区)

○島津義弘が慶長12年(一六〇七)加治木館(加治木島津家屋形)を築いた(島津家正統系図)館の東半分は義弘の屋敷で東の丸及び中の丸と言った。(三國名勝図会)幕末には東の丸は林となっていた。現在東の丸跡は加治木高校・稲荷神社・精矛(くわほこ)神社の境内となっている。西の丸跡は椀城小学校・加治木町立図書館・同郷土館となっている。(参考文献)平凡社発行日本歴史地名大系47・鹿児島県の地名P.607
(高・昭30) 園田恒明(寛加市)

○お世話くださる皆様本当にご苦労様です。仕事場の行事と重なり残念ですが参加出来ません。ご盛会を祈ります。
(高・昭30) 藤村和江(旧姓：藤・仙台市)

○同期生に声をかけて集まるようにしています。同期生の集まる機会も少なくなり関東龍門会の総会は貴重な機会だと楽しみ

にしています。
(高・昭31) 堀之内亨(町田市)

○昨年4月のゴルフ同好会コンペに初参加しました。隠しホールに恵まれてはからずも優勝してしまいました。それにしても大先輩方の元気なプレーにびつくりしました。
(高・昭31) 武田憲昭(江戸川区)

○民生委員を拝命しており、生憎と民生委員の研修旅行と重なり今回は欠席します。
(高・昭31) 米永正博(三郷市)

○一昨年春の叙勲に際して瑞玉小綬章を拝受しました。家内同伴で皇居へ行って参りました。目下体調不安で外出はドクターストップで欠席します。
(高・昭31) 有村仁(川崎市)

○前回(32号)のミニ通信に投稿されていた園田恒明様。溝口文具店を御愛顧下さり有難うございました。母は亡くなりましたが宏二兄ら兄弟4人はそれぞれ元気に暮らしております。夫も加高8期卒です。これからも母校を誇りに皆様に感謝しながら過ごしていきたいと思えます。
(高・昭32) 武田文子(江戸川区)

○会長及び役員の方々のご協力で関東龍門会の総会が開催される事を喜んでおります。益々の発展をお祈りします。
(高・昭34) 安部昌子(旧姓：佃・船橋市)

○本の取り次ぎの会社で働いています。元気で働いているのが幸福です。会の盛会をお祈りいたします。
(高・昭36) 高橋ミチ子(旧姓：福永・春日部市)

○一昨年の秋2回帰郷しました。一回は37年卒の友達とのミニ同級会をしていただき友好を深め、長島美術館を案内してもらい薩摩焼の豪華な美しさにふれ、薩摩の物づくりにこだわった歴史のページを垣間見る思いでした。2回目は加治木中学校33年卒業の霧島ハイツでの同窓会に出席してみなさんと楽しい一時が過ぎ懐かしい気持ちでいっぱいでした。
(高・昭37) 米山滋子(旧姓：森・横浜市)

○昭和34年一年次中村先生に英語を、昭和35・36年二年三年次に谷口先生に英語を教わりました担任をしていただき私も高校の英語教員として無事勤めあげ、今囁託として都立富士高校で働いています。
(高・昭37) 長谷川圭一(横浜)

○19年春国道10号線から母校を眺める機会があり、大楠も元気を

うで大変懐かしい思いがしました。
(高・昭37) 日高昭(神奈川県横浜市)

○海江田幹事長の会報でのご提案のように年代差の多い総会への参加を促すには、それを機に身近な親睦をはかれる何かが・・・心温かい私達の同期の幹事さんは同期会を総会の後に設定して下さいました。その気持ちに報いる為にも参加したいと思えます。
(高・昭37) 桑原昌子(旧姓：西・浜松市)

○昨年の総会に恩師谷口剛先生が出席されたので総会に便乗し関東・関西の合同同窓会以来ひさびさに旧交を温める事が出来ました。
(高・昭37) 藤島義行(旧姓：増田・藤沢市)

○還暦はとうの昔に過ぎていつの間にか60代半ばに差しかからうとしています。それでも元気で読書・パソコン・スポーツクラブと頑張っています。老いは足早にやって来ます。どうぞ皆様お体を大事に！人生楽しみましょう。
(高・昭37) 廣田孝子(旧姓：黒江・西東京市)

○腰痛のため外出がままなりません。
(高・昭38) 金子恵美子(旧姓：小城・秦野市)

○毎日孫の世話に明け暮れています。3才半の女兒と2才半の男児の成長に目をみはるばかりです。加治木の「田中かまぼこ屋」の方言クイズが毎回楽しみで懐かしく応募しています。
(高・昭41) 小濱光子(旧姓：徳森・厚木市)

○関東在住のS41年卒の皆様お元気ですか。やっと三人の息子(29・25・23)も手から飛び立とうとしています。まだまだ自由の身でなく、父(山下和)が4年前の3月に他界し母一人になったので二ヶ月に一回は介護のため帰省し加治木を通り実家に帰っています。
(高・昭41) 鮫島信子(旧姓：山下・横浜市)

○定年退職まで残り2年現在、不安と期待で初めて東京駅に立った40年前が走馬灯のように目に浮かびます。もうひと踏ん張りキランニヤ!!盛会を祈念します。
(高・昭42) 藤井豊幸(さいたま市)

○足柄山のふもとで中学生・教職員・保護者・地域の方々と楽しく頑張っております。
(高・昭49) 中村俊文(神奈川県大井町)

○平成18年12月に砧に引越しました。平成19年の4月には娘が女の子を無事出産しました。
(高・昭51) 佐藤安子(旧姓：境田・世田谷区)

○10年ぶりに専業主婦になりのおんびり読書三昧の毎日です。子供が大きくなりなかなか加治木に帰れないのが少々淋しいです。
(高・昭56) 市来さゆり(旧姓：茶園・土浦市)



“あの人”を訪ねて

加治木高校出身者で、その名を全国的に知られた「あの人」を訪ね、今どうしているか、高校時代のこと、これから…等を持ってきました。
今号では、現在も囲碁界で活躍されている原田実さん、ノンプロ野球で全国制覇を果たした森山義親さんに登場していただきました。次号でもこのような企画記事を掲載する予定です。

昭和29年卒 原田実さん

加治木高校から東京都立大学に進み、卒業後株式会社製作所に入社。業務の傍らアマチュア囲碁の世界で「四天王」と呼ばれる強豪ぶりを発揮。学生時代に学生本因坊になったのははじめ、社会人になってからは全日本アマ本因坊を7回、全日本アマ名人を4回と「全日本」と名のつくタイトルを通算11回とり、その名を全国的に知られた。この3月、日本棋院から囲碁の普及に顕著な功績があったとして、囲碁界の文化功労章ともいえる「大倉喜七郎賞」を受賞。現在 神奈川県藤沢市に在住。



「囲碁との関わりは？」
加治木町柁城小学校6年生の頃、近所の友達と五目並べをして遊んでいたうちにいつしか囲碁に興味を覚え、高校に入ると近所に住む年上の人や大井病院など囲碁好きな人のお宅に行ったりは打つようになりました。

「高校時代は？」
2年生の時県大会で優勝、大分県・別府で行われた九州大会に鹿児島県代表として行ったことがあります。その時は1回戦は勝ったものの2回戦で強豪に当たり負けしました。

「プロ棋士になる気はありませんでしたか？」
高校2年の頃、地方巡業のプロ棋士に誘われたことはあります。しかし、プロになるつもりは

全くなく趣味として囲碁を楽しむことにし、その結果60年も囲碁を楽しむことができました。
「囲碁での最大の思い出は何ですか？」
昭和40年国交回復前の中国に日本囲碁代表団の一員として訪問、約1カ月間滞在して各地を転戦したこと。また、フランス、ドイツ、イタリア、ルーマニア、などで開催された欧州大会にもスポンサー代表として参加し、世界の囲碁ファンと交流できたこと。

「囲碁はあなたにとって何だったと思いますか？」
25才を最初に、全日本大会で11回も優勝できたこと、しかも最後は67才の時でした。囲碁は年令に関係なくいろいろな人と楽しめる有難いゲームです。
「会社ではどんなお仕事をされましたか？」
最初の10年間は本社で資料調達の業務を、次の10年間は研究所の資料調達責任者、あとは会社の教育機関で社員研修の仕事をしました。
「会社生活の中で特筆すべきことは？」
ちょうど日本経済の高度成長期にあたり、多忙ながらも今は皆さんが日常的に使っているコンピューター、パソコン、携帯電話、薄型テレビなどの先端技術に早くから触れることができたことです。

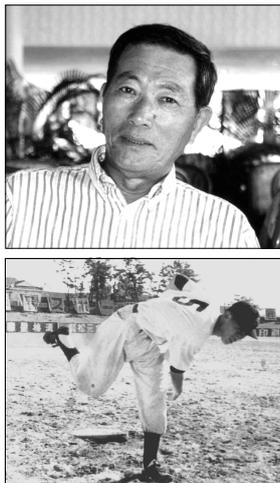
「加治木高校時代の思い出はありますか？」
大した思い出はありませんが、ヒマがあれば友人に囲碁を教えたことでしょうか。今も「あのととき囲碁を覚えておいてよかったです」と感謝されることがあります。
「加治木高校はあなたにとってどういう高校でしたか？」
余り勉強熱心ではなく、授業中囲碁の本を読んだりもしていましたが、上京し大学進学之道を選ぶことをリードしてくれた学び舎でした。

「あなたの座右の銘は？」
『流水不爭』：できるだけ自然に従うこと。
『知足（知足を知る）』：与えられたものに感謝し貪欲を慎むこと、です。
「現在は何をなさっていますか？」
64才で会社を退職、神奈川県囲碁連盟副会長、小中学校囲碁連盟顧問などを務め若者、子供の囲碁指導をする傍ら、各種の新聞、雑誌に囲碁に関するエッセイを書いたりしています。

「今後はどのような人生を過ごされますか？」
できるだけ幅広く、多くの人と囲碁を楽しみ、後進を育てていきたいと考えています。 「了」

昭和31年卒 森山義親さん

野球界において、高校時代から豪腕ぶりでのその名を知られ、加治木高校卒業後は当時の鹿児島鉄道管理局に入社。昭和31年の全国選抜都市対抗野球大会では同チームのエースとして出場、その大会の決勝戦では、のちの巨人軍エース（その後監督となった）藤田投手を相手に堂々と投げ勝ち、鹿鉄を全国優勝に導いた。鹿児島代表のノンプロチームが全国一になったのはその1回だけで、栄光は今も快挙として語り、燦然と輝く記録になっている。
氏はその後NTTに転籍し野球を続けたが昭和41年に野球から身を引き、会社生活を過ごされた。現在 千葉県市川市に在住。



「野球との関わりは？」
小学4年生のとき、終戦直後でもあり進駐軍がよく野球をやっていたので、こちらも友人、青年団とチームを作り試合をやりました。
「高校時代の野球成績は？」
県大会の準々決勝で玉龍高校に1対0で敗退しました。
「会社ではどんなお仕事をされましたか？」
当時の鉄道（旧・国鉄）の野球部員は一般社員

の補助業務的な仕事で、午前中は仕事、午後は練習という感じでした。遠征して対外試合というの結構ありました。
「当時、プロ野球に進むつもりは？」
多くの球団から熱心な誘いを受けました。行きたい気持も十分でしたが勤務先との関係や色々の事情から断念しました。
「野球に関する最大の思い出は？」
昭和31年の全国選抜都市対抗野球大会での優勝です。鹿児島県代表が全国制覇したのは初めてで、県民の皆様にも大変喜ばれました。このことは私個人にとってもその後の人生に大きく関わった出来事でした。それと、当時のチームメートの名譽のためにもお話ししておきたいことは優勝までの4試合、33イニングを無失点に

抑え大会新記録を樹立したことです。これはチーム全員で達成した記録であり、今もまだ破られておりません。
優勝したときには、加高グラウンドで記念のオープン戦もありましたし、優勝記念に加治木町体育協会と加治木高校からいただいた龍門焼の花瓶を今も大事に持っています。
「野球はあなたにとって何でしたか？」
「集中して打ち込める」ものをもったこと、野球で得た自分への自信がその後の人生に大きなプラスになったこと。
「加治木高校時代の思い出は？」
私が入学した昭和27年当時は野球部はなく、野球は中学で終わりだと思っていました。ところが本田君（龍門中出身）、立山勲君（加治木中出身）の「野球部を創ろう！」という強い気持と私の野球への情熱があいまって野球部を創ることになりました。少ない部員数でようやくやっただ秋季大会で強豪・鹿商に惜敗しました。しかし、それ以後加治木はいつもダークホースに挙げられるようになったのがいい思い出です。
「加治木高校はあなたにとってどういう高校でしたか？」
中学時代から、加治木高校に入ると決めており、パンカラな風が色濃く残っている中でそれを通して、素晴らしい友人を数多く得たことが最大です。この付き合いは今も続いており私の支えとなっています。

「あなたの座右の銘は？」
『力まない』。私にとっては、力みのない人と話すこと、自分の至らなさを感ずると同時に爽やかさを感じ、相手に素直な気持ちで自分を受け入れてもらえ、人との繋がり信頼関係を築くことができると思っています。
「現在は何をなさっていますか？」
ゴルフ、囲碁等で、ゴルフでは今もドライバー飛距離にこだわっています。それと、できるだけ高校時代の同窓生、会社の同僚と会うこと。特に加高同窓生の集まり「蔵王会」は長谷場君、日高君を中心に年1回の飲み会を開いています。参加者も多く非常にまとまりのある楽しい会です。

「今後はどのような人生を過ごそうと思っていますか？」
いつまでも友人と焼酎が飲めるよう元気であれは…と思っています。 「了」

抑え大会新記録を樹立したことです。これはチーム全員で達成した記録であり、今もまだ破られておりません。
優勝したときには、加高グラウンドで記念のオープン戦もありましたし、優勝記念に加治木町体育協会と加治木高校からいただいた龍門焼の花瓶を今も大事に持っています。
「野球はあなたにとって何でしたか？」
「集中して打ち込める」ものをもったこと、野球で得た自分への自信がその後の人生に大きなプラスになったこと。
「加治木高校時代の思い出は？」
私が入学した昭和27年当時は野球部はなく、野球は中学で終わりだと思っていました。ところが本田君（龍門中出身）、立山勲君（加治木中出身）の「野球部を創ろう！」という強い気持と私の野球への情熱があいまって野球部を創ることになりました。少ない部員数でようやくやっただ秋季大会で強豪・鹿商に惜敗しました。しかし、それ以後加治木はいつもダークホースに挙げられるようになったのがいい思い出です。
「加治木高校はあなたにとってどういう高校でしたか？」
中学時代から、加治木高校に入ると決めており、パンカラな風が色濃く残っている中でそれを通して、素晴らしい友人を数多く得たことが最大です。この付き合いは今も続いており私の支えとなっています。

同期会情報

加高卒業生たちは、各地で、各時期にそれぞれ同期の集まりをしております。当欄は事務局から関東龍門会の幹事および学年幹事にお問合せの往復はがきを出し「同期生の集まり情報」をお寄せくださったものを紹介しました。



■加中19回生同期会(昭和19年卒)
例年通り11月末新開で開催予定です。
島田次夫(048164810825)

■加中44回4年卒(首都圏地区同窓会)(昭和20年卒)
本年80才「傘寿」の年になりました。今年は11月第3週の金曜日に傘寿同窓会を開きます。また20冊目の記念同窓会誌も作成する予定です。

■加高2回生(昭和25年卒)
昨年は鹿児島で開催しました。今年も関東で開催します。来年(平成21年)は「横浜みなとみらい」で開催します。

■加高3期「てんがらもん会」(昭和26年卒)
有志の集い(毎回15〜20名出席) 年間6〜7回実施
場所:東京理科大学 理学倶楽部

■加高5回生(昭和28年卒)「関東在住同期会」
9月10日頃開催予定です。この会は毎年1〜2回開催しており出席者は24名前後で偶然にも男女ほぼ同数です。

■加高6回生(昭和29年卒)「かじの木会」
2年に1回で実施しており、次回は来年の予定です。
上原孝司(045193217888)

■加高7期関東地区同期会「第28回東京さおう会(昭和30年卒)」
平成20年11月8日(土)午後4時 会場未定
会費:男性1万円、女性8千円
参考:東京加治木会(加治木町にゆかりのある人の会)

平成20年10月8日(土) 午後4時 三州倶楽部
長谷場純一(045189314533)

■加高11回生(昭和34年卒)
同期会は来年1月31日(土)に鹿児島、関東の持ち回りで開催しています。昨年10月は関東地区が主催、ランドプリンスホテル(トップオブ赤坂)で大会と懇親会、翌日は日光プリンスホテルに宿泊し紅葉と観光巡りをしました。また、毎年1月最終土曜日に同期会新年会を開催。30年続いており、毎回30名近くが集まって楽しんでいきます。

■加高12回生同期会「柁の木会」(昭和35年卒)
毎年12月第一土曜日に開催しています。(関東地区48名登録)
例年の参加者は約25名、今年の開催場所は現在未定です。
中山憲一郎(042193212268)

■加高13回生同期会(昭和36年卒)
毎年10月第3土曜日に同窓会を開催しています。関東に50数名同期生がおり、例年の参加者は25名前後です。今年も18日ですが、夏過ぎには詳細を決定します。

■加高「加治木38同期会」(昭和38年卒)
毎月1回、新宿のエステック情報ビル4Fで参集しています。15〜20名が常時参加で、鹿児島、関西方面からの参加もあり、楽しい情報交換会です。

■加高40年卒同期会(昭和40年卒)
加高40年卒同期の皆様、暫く関東地区同期会を企画せず苦しんでおられます。6月7日の場所を借りて同期会の打ち合わせ等を行いたくお誘いいたします。

■加高41年卒同期会(昭和41年卒)
加高41年卒同期の皆様、龍門会総会に同期の方をお誘い合わせのうえ、奮ってご参加ください。龍門会総会の場所を借りて同期会の打ち合わせを行います。

●池端ミチ子・ソプラノリサイタル
11月9日(日)開演 13時30分(開場13時)
武蔵野市民文化会館小ホール(入場料300円全席自由)

出演者:ソプラノ 池端ミチ子(高4回卒)
田端範子(高8回卒、旧姓島津)

TEL FAX 042146111515
099215410582まで。
杉田 脩(029199014230)

「お祝」
ご冥福をお祈り申し上げます。
●川畑武清(中・昭7) ●有馬正芳(中・昭15)
●山内種茂(併設・昭23) ●松元巨高(高・昭24)
●斉藤敏子(高・昭25) ●肥後亨(高・昭27)

平成18年度会計報告

Table with financial data for Heisei 18 fiscal year. Columns include '収入の部' (Income) and '支出の部' (Expenses) with sub-headers for '科目' (Item) and '決算' (Final). Total income and expenses are both 1,914,305.

(備考) (※1) 総会(18年5月27日)開催
出席者107名:来賓7名 総数 114名
(※2) 年会費納入者 368名
(※3) ご寄付 9名
(注) 決算月日の関係上 当紙による報告は平成18年度報告となり
19年度事業(平成19年4月1日〜平成20年3月31日)は当紙
21年号にて報告いたします

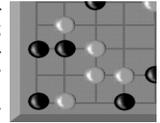
同好会ニュース

ゴルフ同好会
毎年春と秋の2回開催しています。毎回「新バリア」で競技されています。スコアに関係なく順位が決まります。同窓ということで和気あいあいと楽しくやっています。初参加の方もすぐ打ち解けることができますので、今年も初めての方もぜひご参加ください。



囲碁同好会

囲碁同好会は19年度は19年5月、20年1月の2回開催しました。両回とも幹事会などの行事に合わせて行われ、参加者は元気がいいに頭脳を振り絞る大会を楽しみました。一方、年々参加者が少なくなり寂しい感じもします。



会費納入にご協力を!

この関東龍門会にご承知の通り加治木高校、加治木中学、加治木高女卒業生のうち、関東圏内に在住する人で構成されています。しかし、一部には当会の存在を知らない方も居られるようです。つきましては、もし皆様の近辺でこの会報が届かない、会の存在を知らない方が居られましたらぜひ事務局(幹事長 海江田脩・TEL 046718614068)までご連絡ください。

編集後記

今号から、記事構成、内容を少し変えましたがお気づきでしょうか。今後とも母校の近況等なるべくニュース、読み物を増やしていきたいと考えています。ご要望、ご意見があれば事務局にお知らせください。
★今年の加治木高校の文化祭は9月5日(金)〜6日(土)。体育祭9月20日(土)に開催される予定です。
★高からは浪人生も含め国立133名(内・東大2名)、公立30名、私立246名の入学が決まりました。皆様頑張って下さい。

<関東龍門会>は皆様の年会費で運営されています。年会費の納入をお願いします